

数学演習第二 期末統一試験【問題用紙】

2022年2月2日 実施 試験時間 90分

－ 解答用紙には答えのみ記入すること －

1 2変数関数  $g(x, y) = x^4 + x^2y^2 - 6x^2y + y^2$  に対して,  $g(x, y) = 0$  上の点  $(2, \frac{4}{5})$  のまわりで定義される陰関数を  $y = \varphi(x)$  とし,  $g(x, y) = 0$  上の点  $(2, 4)$  のまわりで定義される陰関数を  $y = \psi(x)$  とする.

(1)  $g(x, y) = 0$  を  $y$  についての2次方程式とみなして解いて整理すると,  $\varphi(x) = \frac{\text{ア}}{3 \text{イ} \sqrt{8-x^2}}$  と表される. アに入るべき  $x$  の多項式および イに入るべき符号 (+ または -) を答えよ.

(2) 曲線  $g(x, y) = 0$  上の点  $(2, \frac{4}{5})$  における接線の方程式を  $y = ax + b$  とする.  $a, b$  を求めよ.

(3)  $\psi''(2)$  の値を求めよ.

(4)  $f(x, y) = y$  とする.  $g(x, y) = 0$  のもとで  $f(x, y)$  が極大値をとる点  $(p, q)$  (およびそのときの極大値) をすべて求めよ. 解答欄には, 「点  $(p, q)$  で極大値  $r$  をとる」という形式で答えを記せ.

2 次の重積分を計算せよ.

(5)  $\iint_D x \, dx dy$   $D: 0 \leq x \leq 1, x \leq y \leq -x^2 + 2$

(6)  $\iint_D xy \cos(x^2 + y^2) \, dx dy$   $D: x^2 + y^2 \leq \pi, x \geq 0, y \geq 0$

(7)  $\iiint_D \frac{2}{(x+y+z+1)^3} \, dx dy dz$   $D: 0 \leq z \leq 1, 0 \leq y \leq 1-z, 0 \leq x \leq 1-y-z$

3 (8)  $f(x, y)$  を連続関数とすると, 累次積分  $I = \int_0^{\sqrt{2}} dx \int_{x^2}^{\sqrt{6-x^2}} f(x, y) dy$  の積分順序を交換すると,

$$I = \int_0^{\text{ア}} dy \int_0^{\text{イ}} f(x, y) dx + \int_{\text{ア}}^{\text{ウ}} dy \int_0^{\text{エ}} f(x, y) dx$$

となる. ア から エ に入るべき適切な数値または数式を答えよ.

4 次の重積分  $J$  を考える.

$$J = \iint_D 2xe^{x^2-y^2} \, dx dy \quad D: 0 \leq x+y \leq 1, 0 \leq x-y \leq 1$$

(9)  $u = x + y, v = x - y$  に対して, ヤコビアン  $\frac{\partial(x, y)}{\partial(u, v)}$  を求めよ.

(10)  $J$  の値を求めよ.

5 実数  $a$  に対して,  $A = \begin{bmatrix} 2 & -3 & -1 & 2a+7 \\ 2 & -3 & 2 & 3 \\ -6 & 9 & 2 & 7 \\ 2 & -3 & -3 & 2a+3 \end{bmatrix}$  とする.  $\mathbb{R}^4$  の線形変換  $f(\mathbf{x}) = A\mathbf{x}$  ( $\mathbf{x} \in \mathbb{R}^4$ ) について以下の設問に答えよ.

(11)  $\dim \text{Ker } f = \dim \text{Im } f$  となる  $a$  の値を  $a_0$  と書くことにする.  $a_0$  を求めよ.

(12)  $a \neq a_0$  のとき,  $\dim \text{Im } f$  を求めよ.

(13)  $a = a_0$  のとき,  $\begin{bmatrix} -2 \\ b \\ 3 \\ c \end{bmatrix} \in \text{Im } f$  となるように  $b$  および  $c$  の値を定めよ.

6 実数  $\alpha$  に対して, 行列  $A = \begin{bmatrix} -10 & \alpha+1 & -6 \\ 0 & -1 & 0 \\ 18 & -3\alpha & 11 \end{bmatrix}$  を考える.

(14)  $A$  の固有値をすべて求めよ.

(15)  $A$  の最大固有値に対する固有空間の基底を求めよ.

(16)  $A$  が対角化可能であるための  $\alpha$  の条件を求めよ.

(17)  $\alpha$  が (16) で求めた条件をみたすとき,  $A^n$  の  $(1, 2)$  成分を求めよ. ただし,  $n$  は自然数とする.

7  $\mathbb{R}^3$  の部分空間  $V, W$  を次で定める.

$$V = \left\{ \begin{bmatrix} x_1 \\ x_2 \\ x_3 \end{bmatrix} \in \mathbb{R}^3 \mid x_1 + x_2 + x_3 = 0 \right\}, \quad W = \left\{ \begin{bmatrix} x_1 \\ x_2 \\ x_3 \end{bmatrix} \in \mathbb{R}^3 \mid x_1 - x_2 - x_3 = 0 \right\}.$$

さらに,  $V$  の基底  $\mathcal{A}$  および  $W$  の 2 組の基底  $\mathcal{B}_1, \mathcal{B}_2$  を次で定める.

$$\mathcal{A} = \left( \left( \begin{bmatrix} 2 \\ -1 \\ -1 \end{bmatrix}, \begin{bmatrix} 2 \\ -3 \\ 1 \end{bmatrix} \right), \mathcal{B}_1 = \left( \mathbf{w}_1 = \begin{bmatrix} 1 \\ 1 \\ 0 \end{bmatrix}, \mathbf{w}_2 = \begin{bmatrix} 1 \\ 0 \\ 1 \end{bmatrix} \right), \mathcal{B}_2 = \left( \begin{bmatrix} -1 \\ 2 \\ -3 \end{bmatrix}, \begin{bmatrix} 1 \\ -1 \\ 2 \end{bmatrix} \right).$$

行列  $M = \begin{bmatrix} 2 & 1 & 1 \\ 1 & 2 & -1 \\ 1 & -1 & 2 \end{bmatrix}$  に対して,  $f(\mathbf{x}) = M\mathbf{x}$  ( $\mathbf{x} \in \mathbb{R}^3$ ) で定められる線形写像  $f: \mathbb{R}^3 \rightarrow W$  および  $g(\mathbf{x}) = M\mathbf{x}$  ( $\mathbf{x} \in V$ ) で定められる線形写像  $g: V \rightarrow W$  を考える.

(18)  $f\left(\begin{bmatrix} x_1 \\ x_2 \\ x_3 \end{bmatrix}\right) = \boxed{\mathcal{A}} \mathbf{w}_1 + \boxed{\mathcal{I}} \mathbf{w}_2$  と表すことができる.  $\mathcal{A}$  と  $\mathcal{I}$  に入るべき適切な数式を答えよ.

(19)  $\mathbb{R}^3$  の標準基底を  $\mathcal{E} = (\mathbf{e}_1, \mathbf{e}_2, \mathbf{e}_3)$  とする.  $\mathcal{E}, \mathcal{B}_1$  に関する  $f$  の表現行列を求めよ.

(20)  $\mathcal{A}, \mathcal{B}_2$  に関する  $g$  の表現行列を求めよ.